

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

795

観光施設管理事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	4	観光の稼ぐ力の強化
施策	1	観光客受入体制の整備
取組方針	3	観光資源の魅力向上

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	商工費		
	項	観光費		
	目	観光振興費		
	大事業	観光振興事業		
	中事業	観光施設管理事業		

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel 観光課 谷 昌樹 435-1234
事業実施の根拠法令			関連課	

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	観光施設の維持管理を行い、観光客の受入体制の整備を図る。		観光施設の維持管理を行い、観光客の受入体制を整備することで利用者(来訪者)の増加を図る。			
事業内容		令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度
		観光施設の維持管理(市営片男波海水浴場駐車場、和歌浦観光遊歩道路、雑賀崎観光灯台等)	観光施設の維持管理(市営片男波海水浴場駐車場、和歌浦観光遊歩道路、雑賀崎観光灯台、わかちか広場等)	観光施設の維持管理(市営片男波海水浴場駐車場、和歌浦観光遊歩道路、雑賀崎観光灯台、わかちか広場等)	観光施設の維持管理(市営片男波海水浴場駐車場、和歌浦観光遊歩道路、雑賀崎観光灯台、わかちか広場等)	観光施設の維持管理(市営片男波海水浴場駐車場、和歌浦観光遊歩道路、雑賀崎観光灯台、わかちか広場等)

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	13,247	12,570	23,129	21,710	24,000	33,147	24,756	0	24,756	0	
伸び率(%)	0.2%	△2.9%	74.6%	72.7%	3.8%	52.7%	3.2%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	9,236	8,838	8,611	8,999	8,302	8,078	8,302	0	8,302	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	9,236	8,838	8,611	8,999	8,302	8,078	8,302	0	8,302	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	7,865	0	0	0	0	
県支出金	130	128	126	126	104	103	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	5,775	6,302	6,090	6,090	6,091	6,627	6,091	0	6,091	0	
一般財源(税等)	7,342	6,140	16,913	15,494	17,805	18,552	18,665	0	18,665	0	
所要人数(人)	正規職員	1.16	1.11	1.11	1.16	1.11	1.08	1.11	0.00	1.11	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	管理委託料10,011千円、駐車場管理運営委託料5,764千円、光熱水費3,475千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
市営片男波海水浴場駐車場利用台数		台	目標値	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
			実績値	9,882	11,150	13,537		
			達成度(%)	49.4%	55.8%	67.6%	%	%
市営片男波海水浴場駐車場利用台数		台	目標値	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
			実績値	9,882	11,150	13,537		
			達成度(%)	49.4%	55.8%	67.6%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	観光施設を適正に維持管理し必要な整備を行うことは、観光客の誘致を行うにあたり最低限必要な事業である。
見直し・改善内容	観光客が安心してかつ快適に楽しんでもらえるよう必要な観光地の整備を行うとともに、ニーズ把握を行い、より楽しんでいただけるよう引き続き整備を行っていく。